# JA組織としての農作業時 熱中症予防対策への取り組み

日本農業労災学会 2025年度第12回大会シンポジュウムー地球温暖化時代における熱中症対策を考えるー

17.0ctober.2025 神奈川県 秦野市農業協同組合 宮永 均

## 本日報告します内容

- ・農作業中における死亡事故の発生状況
- JAはだの農業労働災害対策の取り組み
  - ・農業労働災害対策委員会
  - ・改正労働安全衛生規則への対応
  - ・空調服購入助成制度など
  - ・広報媒体を活用しての注意喚起
- JAはだので発生した農作業中における熱中症事故
  - ・事故概要と農業労災請求

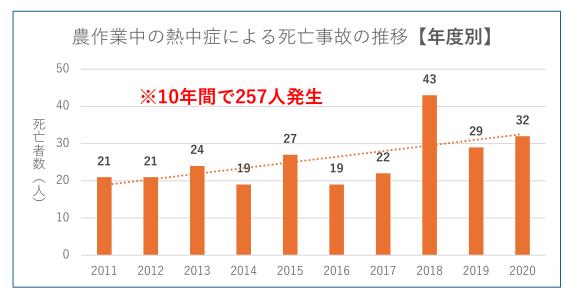
# 要因別の農作業死亡事故発生状況(2023年)

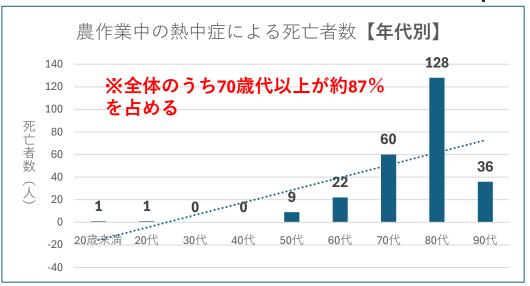
乗用型トラクター61歩行型トラクター9	25.8%
歩行刑 トラクター 0	0.00/
	3.8%
農用運搬車 12	5.1%
自脱型コンバイン 13	5.5%
動力防除機 7	3.0%
動力刈払機 1	0.4%
農用高所作業機 3	1.3%
その他 41	17.4%
農業用施設作業に係る事故 6 人(2.5%)	2.5%
機械・施設以外の作業に係る事故83人(35.2%)	
熱中症 37	15.7%
稲わら焼却中等の事故 17	7.2%
圃場・道路からの転落 10	4.2%
木等の高所からの転落 3	1.3%
その他 16	6.8%

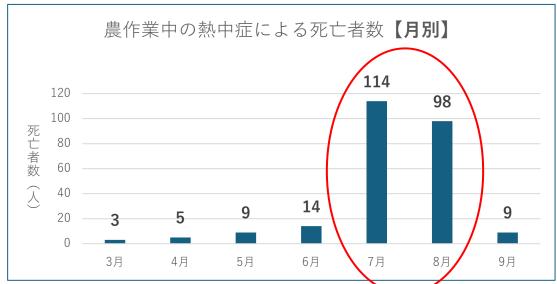
- 農作業死亡事故において、 「熱中症」による死亡者は 37人と全体の15.7%となっており増加傾向です。
- 2024年度の夏季(5~9月) において、田畑等で農作業中に熱中症によって緊急搬 された人数は2,322人で 直近5年で最多となっている。

※出所:農林水産省「農作業死亡事故調査」より8月27日筆者作成

# 農作業中の熱中症による死亡事故の発生状況 2011年~ 2022年









引用:農林水産省調べ「都道府県職員が厚生労働省の「人口動態調査」に係る死亡小票を閲覧する等の方法により調査を基に 2025年6月4日筆者作成 4

# 農業労働災害対策委員会

「農業労働災害対策委員会規程(抜粋)1978年12月22日設定」

## 【目的】

組合員の農作業の安全対策や農業機械化の在り方などを検討し、事故防止活動を推進する。

## 【事業】

- ◆農作業安全対策活動計画
- ◆農薬・農業機械事故防止対策に関すること
- ◆農業労災保険加入促進対策に関すること
- ◆その他農業労災対策に関する事項

## 【構成員】

常勤理事 非常勤理事3名 生産組合長7名 青年部5名 女性部2名 ※任期は2年

# 労働安全衛生規則の改正について

令和7年6月1日から労働者を雇用する全ての事業者に対して、労働者への熱中症対策の義務化。

労働者の熱中症の重篤化による死亡災害を防止するため、熱中症のおそれがある作業者を早期に発見し、迅速かつ適切に対処することが必要であることから、厚生労働省は労働安全衛生規則(省令)を改正した。。

※事業者には、労働者を雇用する農業者や農業法人も含まれます。

労働者を雇用する事業者は、労働者への熱中症対策として、

「体制整備」「手順作成」「関係労働者への周知」を義務付

# 農業労働災害対策委員会規程の一部改正

2025年6月24日一部改正

2025年6月1日改正労働安全衛生規則が施行され、職場における熱中症対策が義務化されたため一部を改正する。

### 【事業】

- ◆農作業安全対策活動計画
- ◆農薬・農業機械事故防止対策に関すること
- ◆農業労災保険加入促進対策に関すること
- ◆その他農業労災対策に関する事項
  - ◆農作業安全対策活動計画
  - ◆農薬・農業機械事故防止対策に関すること
  - ◆農業労災保険加入促進対策に関すること
  - ◆農作業時の熱中症予防対策に関すること
  - ◆その他農業労災対策に関する事項

# 農業労災対策委員会の結果を周知

農業労災対策委員会で協議されたことは、「代表生産組合長会議」、各支所単位で開催される「生産組合長会議」で報告し、それぞれの生産組合(120生産組合)より組合員に回覧で周知される。

また、機関紙やホームページを活用し周知・運動展開する。

空調服購入助成制度は、生産組合や生産部会を通じて周知・取りまとめを行う他、兼業農家が多いこともあり、機関紙やホームページを活用して周知する。

## 空調服購入助成制度(2022年度設定)

「購入金額の半額を助成(上限三万円)」

購入費用の助成は空調服本体やバッテ リー、ファンなどが対象でセット購入が できる。

(単位:円・人)

年度/項目	供給金額	助成金額	正組合員	准組合員	供給人数計
2022年度	2,229,370	1,002,700	64	19	83
2023年度	2,023,120	923,800	57	20	77
2024年度	1,576,160	712,100	40	21	61
計	5,828,650	2,638,600	161	60	221

- 2025年度実施中。
- 別途、同条件でヒートウェア助成制度を実施。

神奈川・JAはだの

空調服購入







お問い合わせ先

JAはだの経済課 81-7717

本体価格(消費税抜)の50%助成(上限3万円)

※上記の内容はJAはだのが定める「空調服購入助成金要領」に基づいて助成します。
※助成金予算額を超えだ時点で終了となります。

#### ~予約受付期間~

2025年5月26日~2025年7月31日

ご利用対象者 J Aはだの組合員および組合員家族

以下の要件を満たす資材

#### JA共済の支援を受け実施

助成要件・1事業年度1回とします。

助成金対象資材 ・JAはだのより購入した空頭限ならびにオブションパーツで、JAはだのでの購入が確認できたもの。

対象商品:空間服ならびにオブションパーツ

内容:空調服・パッテリー・ファンケーブルセット・付属品・インナー

助成金額 1世帯につき上版「3万円」または資材費の1/2のいずれか低い金額(百円未満切捨て)

中し込み方法 申請書は本所経済課、支所、支店へ提出ください。

ご注文は下段注文書にてお中し込みください。

※一部試着品を経済課にてご用意しております。



空調服。お申込み書					受渡方法	
お申込日		月	н		配達・来所(経済課)	
			組合員コ	63,24	お支払いは、当JAの許金口座から の引き落しとなります。	
フリガナ 氏名			横	B話番号( )	н	

商品名	商品番号	侄,	サイズ	数量	セット/単品	税込み価格
11000-1100					セット・ 単品	
		11/			セット・ 単品	
					セット・ 単品	

CET入いたパンには人間別は中の存在の表示。(1922年6月第25日の共和国の政治を持有・利用 代金の計文 法第1235日のも何さん存在・サービス、持する体験の情報の心理会では見します。

JAはだの 経済課 81-7717

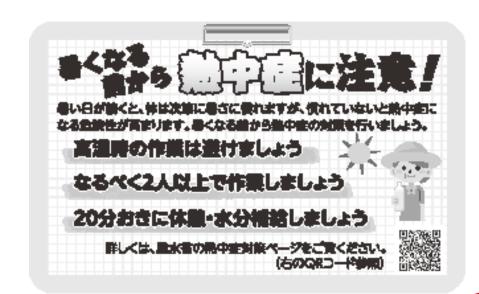
# 熱中症対策「ハートウォッチ」を斡旋





# 毎月発行の機関紙で注意喚起

一組合員訪問日に組合員全戸配布一







こまからた周い名かせは 信用課 TEL.81-7716

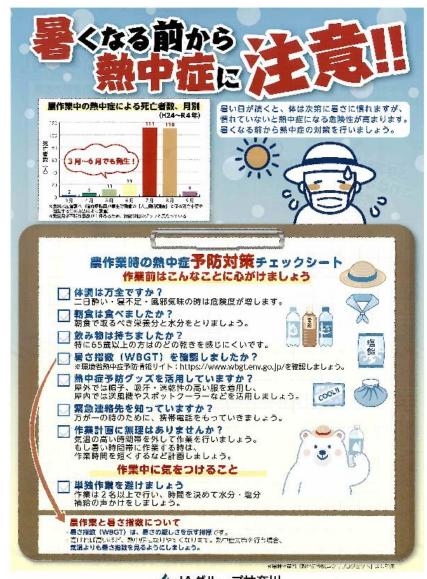
なるべく2人以上で作業しましょう 20分おきに休憩・水分補給しましょう

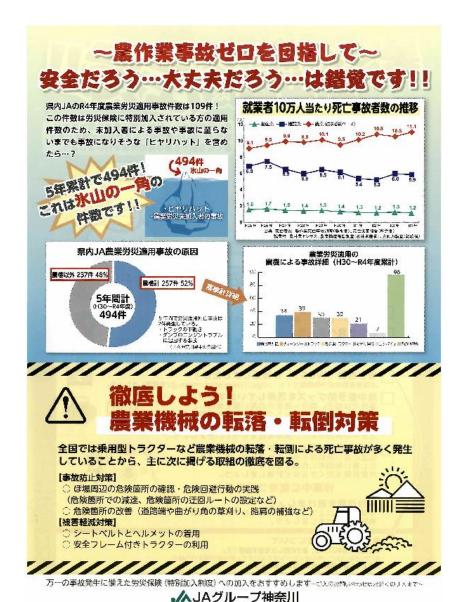
## 5月下旬より農産物直売所出荷者及び組合員訪問日を通じて管内 農家個々にリーフレットを配布し注意喚起を実施。





# 2025年5月末農産物直売所出荷者650名に配布





# 農作業中における熱中症事故

2024年7月23日(火)12時30分発見の事故

2025年3月7日(火)休業補償金受給

# 農業労災加入者及び農作業中事故の概要

- 男性 6 9 歳
- •農業労災加入内容:「特定農作業従事者」給付日額 5,000円
- ・農作業事故概要:地元農産物直売所に出荷後、自宅付近の水田畦畔 で背負い型動力噴霧器を使用して、午前10時頃から除草作業を行っ ていたところ熱中症で倒れた。倒れた時間は不明。
- ・正午になっても帰宅しないので、妻や近所の方が探し12時30分に水田の畦畔で横になっている本人を意識不明の状態で発見した。
- ・稲が生育し、また、畦畔が死角であったため発見が遅れた。



# 農作業中事故発生時のコンディションなど

・気温:32°C ・湿度:約70% 木陰のない炎天下

・農作業内容:水田畦畔の除草作業

・農作業中の服装: 麦わら帽子

ファン付き空調服 (ベストタイプ)

手甲

長靴(水田用)を着用

- 発見後速やかに大学病院に緊急搬送されたが、重度の熱中症による脳へのダメージと両足に重度の火傷を負う。
- ・火傷は大きさ500円玉位で6か所は骨まで達していた。8月14日 以降、現在まで全5回の皮膚移植を行った。
- ・傷病の部位及び傷病名:◆熱中症
  - ◆両側腿部第Ⅱ度熱傷
    - ※表皮だけでなく、真皮にまでおよぶ火傷
  - ◆両側小脳梗塞

2024年7月23日~2025年1月30日まで、大学病院に入院 2025年1月30日~2025年5月29日まで秦野市内の病院に転院し リハビリを行う。5月30日より自宅療養

# 重度の火傷を負う原因になった農作業用長靴



# 農業労災請求における状況確認

- ・2024年8月2日、事故発生に伴い平塚労働基準監督署に補償手続き等について電話相談を行う。
- ・労働基準監督署は、症例で補償できる・できないは申し上げられないが、 労働災害補償の対象か否かを判断をするために、次の内容を確認したいの で必要書類を提出するよう求められた。
  - ◆いつ・どのような場所で「水田、畑」
  - ◆どのような環境下「気温、湿度、直射日光」
  - ◆どのような状況下「炎天下、風の通りが悪い、日の照り返し」
  - ◆どのような作業内容「動力機械の使用状況」
  - ◆本人の体調、持病、既往歴「日頃の健康状態、飲酒、睡眠不足」
  - ◆本人の服装「帽子の着用、長袖長ズボン、長靴、空調服着用」

# 労働基準監督署への対応と経過【1】

- ・ 2024年7月23日 農作業中の事故発生
- ・2024年8月 2日 労働基準監督署へ相談
- 2024年8月14日 火傷皮膚移植手術
- ・ 2024年9月 9日 事故状況や経過についてJA職員実施
  - ※支所長、事務担当職員が聞き取り調査を行う。
- 2024年9月10日 火傷皮膚移植手術
  - 以降3回にわたる皮膚移植手術を行う。
- ・2024年9月20日 書類「様式5号※、様式7号※」を本人の妻が提出
  - ※JA農業労災事務組合は所定個所に押印後、ご本人の妻が大学病院に 提出する。

※**様式第5号:**療養補償給付及び複数事業労働者療養給付たる療養の**給付**請求書

※様式第7号:療養補償給付及び複数事業労働者療養給付たる療養の**費用**請求書(同一傷病分)

# 労働基準監督署への対応と経過【2】

- ・2024年10月~12月にJA農業労災事務組合職員は労働基準監督署や本人の妻に何度となく書類審査の状況等を確認するが確認できず。
- ・2025年1月21日、労働基準監督署よりJA農業労災事務組合職員に連絡があり、当該者の書類が1月17日に届いた報告を受けると同時に改めて事故詳細について聞き取りがあった。同日、労働基準監督署より2度目の電話が入り、休業補償の手続きをすすめるよう指示を受ける。
- ・2025年1月29日、書類「様式6号※、様式8号※」が本人の妻から提出される。JA農業労災事務組合は、所定個所に押印後、本人の妻から大学病院に提出する。

※様式第6号:療養補償給付及び複数事業労働者療養給付たる療養の給付を受ける指定病院等(変更)届

※**様式第8号:**休業補償給付支給請求書·複数事業労働者休業給付支給請求書·休業特別支給金支給申請書

# 労働基準監督署への対応と経過【3】

- 2025年1月30日、機能回復を目的にしたリハビリを行うため大 学病院から秦野市内の病院に転院する。
- ・2025年2月7日、ご本人の妻から書類「様式8号※」が提出され、 JA事務組合職員が受理し、JA事務組合は所定個所に押印後、労働基準監督署に提出する。
- 2025年3月7日、休業補償金「2024年7月23日~2025年1月30日まで192日間」が支払われる※①休業等給付金567,000円、②休業等特別給付金189,000円
- ・この間、入院先病院からご本人への治療費/入院費の請求はない。

※様式第8号:休業補償給付支給請求書・複数事業労働者休業給付支給請求書・休業特別支給金支給申請書

# 休業補償金の保険給付について

## 特別加入者に対する保険給付の種類(抜粋)

保険給付の種類	支給事由	給付内容	特別支給金	具体的な例
(注1)	<b>人</b> 和争田	和刊刊	行加义和亚	(給付基礎日額10,000円の場合)
※休業が必要な日ご	による場例の様質のにめ	が乗4日日以降、が乗位 置につき給付基礎日額の	日につき紹竹基礎日観の20%相当類が支給	(20日休業の場合)①休業(補償)等給付 1万円×60%× (20日-3日)=10万2千円 ② 休業(補償)等特別支給金 1万 円×20%×(20日-3日)=3万 4千円

(注1) 「保険給付の種類」欄の○○補償給付は業務災害、○○給付は通勤災害に対して支給される保険の名称です。

MEMO		

MEMO		



ご清聴ありがとうございました。